

- カラー特集 HIS2009年世界選手権横浜大会……【2】
カラーハイライト 銅メダリスト岸川・水谷組……【5】
カラーハイライト 日本選手成績……【10】
カラーインタビュー 石川佳純(ミキハウスJSC)……【14】
インタビュー 宮崎義仁男子監督、村上恭和女子監督……【18】
インタビュー 高島規郎(元日本代表男子監督)……【21】
インタビュー 近藤欽司(前日本代表女子監督)……【22】
インタビュー 森蘭美咲(青森山田高)、石垣優香(淑徳大)……【24】
大会記録 HIS2009年世界選手権横浜大会……【27】
夢に向かった散歩道 近藤欽司(前日本代表女子監督)……【30】
練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)……【32】
中学生の指導 多田進(親愛ムーサスクール代表)……【34】
もっと素敵に卓球 山中教子(サウンド球貴代表)……【36】
藤井基男さんの死を悼む 兒玉圭司、小林秀行、江口富士枝……【38】
大会記録 関西学生新人戦……【48】
シリーズ 卓球の風 石川佳純……【53】
カラーハイライト スナップ、活躍した外国選手……【54】
カラーハイライト シャララ杯横浜国際ラージボールオープン大会……【57】
日本の肖像 志村真吾(神奈川県卓球協会理事長)……【60】
カラーハイライト 21年度春季関東学生リーグ戦……【62】
- | | |
|----------------|----------------|
| ピンポン東西南北……【37】 | みんなのコーナー……【52】 |
| 第5チャンネル……【42】 | 編集室……【52】 |
| 各地レポート……【44】 | 用具選び……【66】 |
| アープでラージ……【50】 | ニッタク講習会……【68】 |

Message

日本で6回目の開催となる世界選手権が横浜で開かれ、大成功の内に終了した。テレビ放送の影響は大きく、卓球を始めてみよう、という子どもたちが増えた。

若手の松平健太選手、丹羽孝希選手、石川佳純選手らの活躍も後押ししたようだ。

その若手選手のプレースタイルは、堂々として、心も身体もまっすぐに、最後の最後までゆるぎなく自分のプレーを出し切っていた、とは、今月号の「もっと素敵に卓球」の中で山中教子さんが述べている。

ところで、これまで、各地でラージ

ボールの講習会を行い、技術、戦術面から見るのではなく、「心も身体もまっすぐ」というテーマからみて、お手本となる選手は、石川佳純選手である、と言ってきた。しかし、これからは松平選手、丹羽選手もお手本です、と言える。今後は更にそういう選手が増えていくことを期待する。

外国選手では、何と言っても中国の張怡寧選手と王楠選手がお手本といえる。今後もしばらくはそうであろう。

ラージボールの世界でも、40ミリの世界でも、芸術・美術の世界でも、本物を見る、世界一流のプレーを見る、ということが大事になる。(片野)



表紙
石川佳純(ミキハウスJSC)
撮影 安部俊太郎